



# 地区補助金による奨学金 ベストプラクティス

## 概要

本ガイドでは、地区補助金を利用した奨学金の計画と管理に役立つ情報をご紹介します。これらのアイデアや情報を、独自の奨学金プログラムを立案する参考としてください。

- 奨学金の手続きを管理する担当者を決める
- 奨学金の種類／範囲を決める
- 奨学金の資格要件を決定し、周知させる
- できる限り早い時期に申請方法と選考方法を定め、広報する
- 奨学生と提唱ロータリークラブ（派遣クラブ）の報告要件を定める
- 奨学生の準備を助ける
- 奨学生への奨学金支給方法を決定する
- 奨学金で支払われる経費と領収書の提出方法を奨学生に説明する
- 奨学生の就学先のロータリアンと連絡を取り、奨学生の出迎え、支援、ロータリー活動への参加について期待事項を確認しておく

その他のロータリー奨学金については、[グローバル補助金による奨学金:補足資料](#)と[ロータリー平和センター:ロータリアンのためのプログラムの手引き](#)をご覧ください。

## 奨学金手続きの管理

まずは、奨学金の担当者を決めます。既存の委員会が地区補助金による奨学金の手続きを管理するか、新たに委員会を設置してください。奨学金関連を担当するのに適切なのは、以下の地区委員会です。

- 地区ロータリー財団委員会
- 地区ロータリー財団補助金小委員会
- 奨学金小委員会（推奨）
- 地区補助金小委員会（推奨）

## ベストプラクティス

奨学金小委員会を設けて、ロータリーの奨学金に関する経験をもつロータリアンを委員に任命するとよいでしょう。また、元奨学生（ロータリアンとなっていない場合でも）に協力を依頼することができます。地元の大学で奨学金やフェローシップを扱う部署も、よいリソースとなります。

## **奨学金の種類／範囲の特定**

地区補助金を使って、さまざまなタイプの奨学金を提供することができます。できる限り早めに奨学金の種類や範囲を決め、クラブに周知することで、候補者の募集を早くから始められるようにしましょう。

地区補助金による奨学金では、提供したい奨学金の種類を柔軟に決められるのが魅力の一つです。奨学金の範囲を決定する際は、以下をご検討ください。

- 就学の場所(地区内、国内、海外など)
- 就学のレベルや形態(高校、専門学校、大学、大学院)
- 支援の種類(地区が奨学生を派遣する、または地区が定めた要件を満たす奨学生を他地区から受け入れる)
- 奨学金の期間(1学期、1学年、大学または大学院を卒業するまで)
- 学科、研究、職業研修
- 選考基準(経済的な理由、優秀な学生を支援、またはその両方)
- 支給額(一律額、一定の範囲内の額、申請内容に基づいて決定)

奨学生の義務や奨学生に対する期待事項を定めることもできます。ただし、募集の際に、これらの義務や期待事項をはっきりと説明しておくことが大切です。例として、以下のような責務が挙げられます。

- 奨学金期間の前後に、ロータリークラブまたは地区の会合や行事でスピーチを行う
- 達成したことや経験、奨学金についての感想などを報告書にまとめて提出したり、オンライン日記を付ける。
- 就学先の地域でロータリーの活動に参加する(ロータリークラブの例会に出席、ローターアクトクラブでスピーチ、奉仕プロジェクトに参加など)

## **ベストプラクティス**

奨学金小委員会がアンケート調査を実施し、地区内クラブがどのような学生を支援したいか、調べるすることができます。

## **資格要件の設定**

奨学金の受給資格要件を決めます。一般に、以下のような要件が盛り込まれます。

- 必要な学歴または経歴
- 財務状況(家庭の経済状況など)
- 場所(地区内に居住または勤務していること等)
- 語学力(留学する場合は留学国の言語を話せること等)
- 人前で話すスキルや対人スキル
- 私生活、学校、職場で高い倫理基準を実証していること
- 地元地域、国内、海外の時事知識。自国と留学国の文化や歴史に関する知識

[地区の覚書\(MOU\)](#)は、「補助金に関与するすべての人が、実際の利害の対立や、利害の対立であると認識される事態を避けるように活動するよう確認すること」と定めています。また、ロータリー財団補助金を利用した奨学金を

以下の人々に授与することはできません。

- ロータリアン(名誉ロータリアンを含む)
- クラブ、地区、その他のロータリー関係組織、国際ロータリーの職員
- 上記2項目に該当する人の配偶者、直系卑属(血縁による子または孫、養子、継子)、直系卑属の配偶者、尊属(血縁による両親または祖父母)
- 国際ロータリーまたはロータリー財団と提携している機関、団体、組織の被雇用者
- 退会から36カ月以内の元ロータリアンまたは元名誉ロータリアン
- 退会から36カ月以内の元ロータリアンまたは元名誉ロータリアンと親族関係にあることから受領資格を得られない人

さらに、奨学生はロータリーの旅行禁止国に留学することはできません。旅行禁止国のリストはロータリーの[ウェブサイト](#)でご確認ください。

地区が定める資格要件は、申請者が面接と選考を受ける国のあらゆる差別禁止法に配慮する必要があります。

## ベストプラクティス

数々の要件を設定できる一方で、実際に募集と選考手続を行いやすいよう、妥当な数の要件を設けるようにします。

## 申請方法と選考方法の決定

早めに申請方法を決め、できるだけ早期にクラブに伝えます。申請方法を決める際は、申請書式を作成するほか、候補者の面接と推薦に関してクラブが行うべきこと、候補者の選考と通知の方法も決めておきます。

## 申請書式

地区は、申請者が提出する書類(申請書式、成績証明証、教員や雇用主からの推薦状など)と書類の提出方法(Eメール、オンライン申請、紙面で提出など)を決めます。申請書式のサンプルは本ガイドの最終部に掲載されています。

奨学金の詳細、申請締切日、申請方法などについての問い合わせ先となるロータリアンを決め、連絡先をクラブに伝えます。この担当者は、地区補助金小委員会委員長または地区奨学金小委員会委員長(任意で設ける役職)であっても構いません。

## ロータリークラブの関与

申請と推薦の手続に、地元ロータリークラブが関与するかどうか、また関与する場合は、どのようにかわるかを決めます。申請者が直接、地区に申請書を提出するか、または地元クラブが申請書を審査し、候補者の推薦を地区選考委員会に送るようにすることができます。

## 選考委員会

地区選考委員会を設置し、利害の対立がないかどうか確認します。また候補者の募集当初から、面接(直接の面接またはテレビ会議による面接)の有無を明確にし、面接の場所と予定日も明示します。

## 通知方法

奨学生に選ばれた人への通知は、いつ、どのように行うかも決めておきましょう。

## ベストプラクティス

選考では、地区内各地のロータリアンに協力してもらい、多くのクラブが奨学金の機会を知ることができるようにします。

## 報告要件の決定

奨学生が報告すべき要件を決定します。また、75米ドル以上の経費については、必ず領収書を回収し、地区がこの領収書を最低5年間保存する必要があることにご留意ください。

「地区の参加資格認定:覚書(MOU)」は、地区がDDF(地区財団活動資金)の用途をクラブに報告することを義務づけています。この報告は、全クラブが出席する地区会合で行いますが、この機会に、地区補助金による奨学金についてどのような情報を報告すべきかを考えると、奨学生が地区に報告すべき情報も自ずと決まってきます。

## ベストプラクティス

地区委員または提唱ロータリークラブの会員を奨学生の主な連絡担当者として決めておくとうまいでしょう。

## 奨学生の準備

奨学生が決定したら、提唱ロータリークラブまたは地区が、奨学生の準備に協力します。準備には以下が含まれます。

- 留学や旅行に必要なビザや就学許可の手配
- ビザやパスポートなど重要書類のコピー(紛失時に備えて)
- 留学国への旅行に必要なまたは奨励されている予防接種
- 国際ロータリー・トラベルサービス(RITS)を通じて、または自分で選んだ方法による[航空券の手配](#)
- 留学国での銀行サービスおよび通貨規制について調査
- 手ごろな料金で安全かつ便利な場所にある寮や滞在先探し
- 奨学金の資金を管理するための予算作成
- [旅行保険](#)への加入
- 奨学生としての経験を記録するためのブログサイトやソーシャルメディアのページ開設
- 常用の処方薬が留学国で合法かつ入手可能であることを確認(大使館や領事館のウェブサイトを参照)
- 提唱ロータリークラブや地区の会合、社会奉仕プロジェクト、募金行事などへの参加
- クラブ、地区、多地区合同のいずれかで開催される派遣オリエンテーション・セミナーへの出席(オンラインでのオリエンテーションは、[ロータリーのウェブサイト](#)を参照)

ロータリーは、セクシャルハラスメント(性的いやがらせ)と不適切行為を一切容認しない方針を定めています。この点を奨学生に十分説明し、何か問題が発生した場合は、直ちに国際ロータリーに報告する必要があることを伝えてください。

## ベストプラクティス

奨学金の授与額を決定する際は、地域で開催される出発前の派遣オリエンテーション・セミナーへの出席経費も考慮に入れてください。単一または複数の地区が開催するオリエンテーションでは通常、奨学生や奨学生の提唱ロータリアンから、セミナーの登録料を徴収します。経費として、セミナー登録料、食費、宿泊費、航空費、その他の交通費などを含めるとよいでしょう。

## **奨学金の支給**

学生に奨学金を支払う方法を決定します。

### **送金**

奨学生に直接支払うか、または提唱ロータリークラブを介して支払う方法のいずれかを、地区が選ぶことができます。奨学生に直接支払う場合は、母国の銀行口座または留学国の銀行口座のどちらに送金するかを決めましょう。留学国の口座に送金する場合は、通貨規制、為替変動、手数料といったこともあらかじめ確認しておく必要があります。

### **支払いのスケジュール**

奨学生が報告要件を満たし、また予算に沿って奨学金を使用していることを確認するため、複数回に分けて支払うことが可能です。支払いを複数回に分ける場合は、その旨を明確に奨学生に伝え、また金額と送金時期も知らせておくようにします。

### **ベストプラクティス**

留学国への電子送金手数料を調べておき(母国と比べて高い手数料がかかる場合があります)、その費用を奨学金の予算にあらかじめ組み込んでおくといでしょう。

## **奨学金の終了**

「地区の参加資格認定:覚書(MOU)」は、地区補助金が終了した後も、地区が経費の領収書を保管しておくよう義務づけています。奨学生は、75米ドル以上の経費の領収書を必ず地区に提出し、地区がこの領収書を最低5年間(地元の法律によってはそれ以上)保管します。

地区が定めた独自の要件に従い、奨学生がその他の書類(奨学生としての経験に関する小論文、成績証明書など)を提出する必要がある場合は、奨学金期間が終わり次第、早めに書類を回収しましょう。書類としての報告書以外に、オンラインのジャーナルやブログサイトで奨学生の経験が記録されている場合は、それを報告書代わりにすることもできます。

奨学金期間の終了が近づくにつれ、その後も「ロータリー学友」としてロータリーの活動に参加する方法を話し合っておくことをお勧めします。

### **ベストプラクティス**

奨学金の記録(諸情報、領収書、請求書など)は、電子的に保管しておくことが可能です。奨学生からは、領収書をスキャンしたコピーをEメールで送ってもらいます。記録は適切に管理し、控えのデータを保存するようにしましょう。

## **奨学生の受け入れ**

ほかの地区から派遣された地区補助金による奨学生を、現地の地区が受け入れ、支援を提供する義務はない点にご留意ください。また、ロータリー財団のこれまでの奨学金プログラム(国際親善奨学金など)と異なり、地区補助金を利用して派遣される奨学生について、国際ロータリーが留学先の地区に連絡を取ることはありません。従って、現地での奨学生サポートや地元ロータリアンとの交流について、実施可能な期待事項を定めておくことが大切です。

す。

ロータリークラブや地区は、現地のロータリアンに直接連絡を取り、奨学生との交流やサポートについて話し合うことができます。奨学生がロータリーの活動にどのように参加できるか、また現地のロータリアンからどのようなサポートを受けられるかを確認しておきましょう。

派遣側と受入側のロータリアンによる話し合いでは、以下を確認することができます。

- 受入側カウンセラーとなるロータリアンとその役割。カウンセラーは、奨学生にとって非常に重要な存在となります。
- 受入クラブ(世話クラブ)の指定
- 大学での登録手続き支援
- 宿泊先探しの支援
- その他の一般的な支援(銀行口座の開設、日用品を購入できる場所、医者探し、調度品、調理器具や食器、寝具の調達など)
- 必要な場合の送迎(空港送迎など)

事前の連絡なしに、地区補助金による奨学生が地元地域に到着した場合、その時点で地区が提供できるサポートについて説明する必要があります。

### **ベストプラクティス**

地区補助金による奨学生の受け入れを希望する地区は、地区が提供できるサポートや現地ロータリアンとの交流について、ウェブサイトで紹介するとよいでしょう。また、地区奨学金小委員会委員長を任命している地区にEメールを送って(地区のリストは日本事務局にお問い合わせください)、奨学生を歓迎することを伝えます。

## ロータリー財団地区補助金による奨学金の申請書(サンプル)

[地区独自の申請要件をここに挿入]

ロータリー財団へ直接提出された申請書は、審査の対象となりません。

タイプ入力するか、手書きの場合は明確に記入してください。略字や略語、イニシャルは使用しないでください。

姓: \_\_\_\_\_ 名: \_\_\_\_\_

男性  女性

現住所: \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

Eメール: \_\_\_\_\_

電話(自宅など): \_\_\_\_\_ 電話(携帯など): \_\_\_\_\_

国籍: \_\_\_\_\_

出生国: \_\_\_\_\_

緊急連絡先(本人との続柄、氏名、住所、電話番号、Eメール):

\_\_\_\_\_

希望の専攻分野と就学期間:

\_\_\_\_\_

### **学歴**

高校卒業後または大学レベル以上(現在から奨学金支給期間までに予定している教育も含まれます。現在、予定中または一番最近の学歴から順に記入してください)。

教育機関名: \_\_\_\_\_

所在地: \_\_\_\_\_

在籍期間(年月): \_\_\_\_\_

専攻分野: \_\_\_\_\_

取得した(または取得予定の)学位/修了証: \_\_\_\_\_

教育機関名: \_\_\_\_\_

所在地: \_\_\_\_\_

在籍期間(年月): \_\_\_\_\_

専攻分野: \_\_\_\_\_

取得した(または取得予定の)学位/修了証: \_\_\_\_\_

高等学校(学校名と所在地)	年月	卒業
_____	_____	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
_____	_____	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>

### 職歴

(最近のものから)

会社名/雇用主	役職または職種	在職期間(年月)
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____

### 現在までの海外経験

州/県/地方	国	滞在期間	滞在理由
_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____

## 小論文

以下の書類を用意し、各書類の右上にあなたの氏名と提唱ロータリークラブ名またはロータリー地区の番号を記入してください。

1. 簡潔な経歴紹介(2ページ以内)。以下の情報を含めること。
  - a. 得意な科目と今後の課題
  - b. 職務経験
  - c. キャリア目標
2. 志望理由(2ページ以内)。以下の情報を含めること。
  - a. 奨学金を申請する理由
  - b. 希望する専攻分野、および将来のキャリア計画
  - c. あなたの主な関心事や活動、リーダー的役割を果たした経験について。スピーチや論文発表などの経験、社会奉仕活動への関与がある場合はそれについても記入。

## 推薦状

教員または雇用主／上司からの推薦状、計2通を提出してください。

## 成績証明証

高校卒業後に就学したすべての教育機関の成績証明証(原本)を提出してください。

## 教育機関

奨学金で進学を希望する教育機関と学科／プログラムについて、以下に詳細を記入してください。

教育機関名:

---

市町村／州・県／国:

---

教育機関のウェブサイト:

---

就学開始日(年月):

---

学位または修了証:

---

学科／プログラムの名称:

---

学科／プログラムのウェブサイト:

---

## 申請者による証明

私は、以下に署名することにより、本奨学金申請書に記入した情報が真実かつ正確であることを証明します。私はまた、補助金資金を受け取る個人の利害対立に関するロータリーの方針に従い、私は以下の範疇に該当しないことを証明します。

- ロータリアン(名誉ロータリアンを含む)
- クラブ、地区、その他のロータリー関係組織、国際ロータリーの職員

- 上記2項目に該当する人の配偶者、直系卑属(血縁による子または孫、養子、継子)、直系卑属の配偶者、尊属(血縁による両親または祖父母)
- 国際ロータリーまたはロータリー財団と提携している機関、団体、組織の被雇用者
- 退会から36カ月以内の元ロータリアンまたは元名誉ロータリアン
- 退会から36カ月以内の元ロータリアンまたは元名誉ロータリアンと親族関係にあることから受領資格を得られない人

申請者の署名:

日付:

\_\_\_\_\_